

レセプト点検における DX 推進～パッケージとスクラッチによる業務効率の向上を目指して～

特定医療法人社団勝木会
やわたメディカルセンター
杉本 の乃

【はじめに】

外来レセプト点検業務により生じる時間外業務、レセプト発行時の紙のコスト等の問題を改善、また効率的に業務を行う為、外来レセプト点検方法の改革に取り組んだ。

【対象と方法】

当月受診した全患者の外来レセプトをレセプトチェックソフトにて病名もれ等の”エラーあり”、特段問題ない”エラーなし”に分け紙媒体にて発行、目視点検していた。エラーなしレセプトを点検する理由はソフトでは拾えきれない箇所もある為だが、エラーなしレセプトを効率よく点検することはできないか部内で考えた結果、電子カルテ・医事会計ソフト等で必要なデータを収集し追点検する当院独自の仕組みを ACCESS で構築した。

【結果】

R6.9月請求分	レセプト発行枚数	約 8,700 枚	全残業時間	83 時間
R6.11月請求分	レセプト発行枚数	約 5,000 枚	全残業時間	59 時間
レセプト発行枚数 43%削減 残業時間 29%減少となった。				

【考察・結論】

外来レセプト全枚数を点検する必要がなくなり、業務負荷減少となり今後の働き方改革に繋がると考える。